

クズ



川の土手だけでなく、荒地や林縁で見られるつる性の植物です。手のひらほどある葉（小葉）は3枚がセットで、本来は1枚だった葉が分かれたものです。

夏から初秋にかけて赤紫色の花を円錐状えんすいに付け、あたりには甘く爽さわやかな香りを漂ただよわせています。まるでフジの花を逆さに立てたようですが、どちらもマメ科の植物で、クズはやがて毛におおわれた豆のさやを付けていきます。

クズは秋の七草のひとつに数えられ、根から採れるくず粉（でんぷん）は、薬や和菓子の材料として使われ、古くから人々に利用されてきました。



クズの花



クズの葉